

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

平成30年10月29日

和泉市長 あて

特定非営利活動法人

団体名 いずみの国の自然館 **クラブ**

代表者名 梁取 征弘

所在地

電 話

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

1. 事業の名称 自然観察・自然史科学の普及・自然史資料の収集整理・研究出版・環境教育・自然館でのイベント事業
2. 事業の概要 自然観察会、講習会・講演会、自然記録と資料収集、会報の発行、ゴミ拾い等、総合的な自然教育を行う。
3. 事業費総額 360,000 円
(うち、対象経費 360,000 円)
4. 交付希望額 180,000 円
5. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。
(はい ・ いいえ)
6. 添付書類
 - (1) 団体概要調書（様式第2号）
 - (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
 - (3) 事業計画書（様式第3号）
 - (4) 収支予算書（様式第4号）
 - (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団 体 概 要 調 書

フリガナ	トクテイヒエイリカツドウホウジンイズミノクニノシゼンカンクラブ		
団体名	特定非営利活動法人 いずみの国の自然館クラブ		
団体の目的	広く自然史科学の発展と普及に取り組み、自然史系博物館「いずみの国の自然館」の設立を目指し、市民の自然に対する理解を深めることを目的とする。感動を大切にしながら自然の中で心豊かな暮らしや生き物とふれ合う機会を提供する。		
市内事務所の所在地	その他（ ）】		
	電 話		電 話
フリガナ	ヤナトリ マサヒロ		
代表者氏名	梁 取 征 弘		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ ミワ ケンイチロウ		電 話
	三輪 健一郎		FAX
設 立 年 月	2005年 10月	主な活動地域	和泉市内
会報等の発行	(有) (年 3回発行) ・ 無		会員数 94 人
メールアドレス			
ホームページ	http://www.shizenkan-club.net		
主な事業内容	自然観察（毎月の自然観察会実施）・自然史科学の普及（毎年3回の講習会と講演会）・自然史資料の整理（動植物の調査・市よりの環境調査業務）・研究出版（年3回の会報の発行）・自然館でのイベント（南松尾幼稚園跡地の活用など）・環境教育（観察会でのゴミ拾いなど）		
主な活動の実績	1. 自然観察会は、満13年となり157回、延べ6000人を数える。2. 毎年夏の植物と昆虫の標本作成講習会と名前調べの会、冬の講演会などの実施。3. 年3回の会報発行など。4. 市のSゾーンの環境調査業務。5. 市の24年以降の環境調査業務。		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)
	30	自然環境調査	702,000 円
	29	自然環境調査	1509,840 円
	28	自然環境調査	1436,400 円

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

申込事業の名称	自然観察・自然史科学の普及・自然史資料の収集整理・研究出版・環境教育・自然館でのイベント事業
事業の必要性 *別紙添付可	（事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等） 活動を始めたのは文科省のいじめ問題や暴力事件の都道府県別発生件数の発表がきっかけであった。子どもたちに関わる悲しい事件が相変わらず多い現状がある。また学校現場では自然遊びの実体験の感動を与える機会が少なく、行政に新規計画を提案してもなかなか実施してもらえない。 （申込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果） 自然の恵みや生命の大切さを次世代の子供たちに伝え、子どもたちの情操を育むことが最重要課題だと考えています。大人も共に学び遊んで行くことで和泉市の自然の素晴らしさを体感し、安らぐことが出来る。
事業内容 *別紙添付可	（主な対象者） 和泉市に住む子供たちと保護者・一般市民 （事業実施期間） 1. 講演会（2月はじめ）＆講習会（夏休みのはじめと終わり各1回） 参加予定者数計 60名 2. 年3回の会報出版 3. 自然館まつり（夏） 参加予定者数計500名 （事業実施場所） 1. （シティプラザ多目的室等） 2. 会報出版（場所特になし） 3. エコール・いずみアムゼ広場 （問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか） 講演会＆講習会、会報出版の啓発活動に努め、自然観察会で実体験を提供する。

様式第4号（第5条・第12条関係）

収支予算書

事業の名称： 自然観察・自然史科学の普及・自然史資料の収集整理・研究出版・
環境教育・自然館でのイベント事業

1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	180,000 円	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	56,000 円	講習会等参加費 (36,000 円) 自然館祭り屋台売り上げ (20,000 円)
自主財源	124,000 円	会費より補填
合 計	360,000 円	

2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	30,000 円	講習/講演会講師謝礼（雑費込み）4 名分
消耗品費	204,000 円	会報用クリアホルダー・A4用紙・イン クトナー等（74,000 円） 自然教室にかかる教材購入費 20,000 円 環境教育に係る工具材料費 20,000 円 イベント材料 60,000 円 文房具類 30,000 円
食料費	6,000 円	イベント準備等スタッフ作業時飲料代 （200 円×30名）
役務費	30,000 円	郵送料・行事保険料
使用料及び賃借料	10,000 円	多目的室・創作活動室等借り上げ料
原材料費	30,000 円	自然館祭り屋台用食材等
備品費(対象経費)	50,000 円	油搾り器
備品費(対象外経費)		
合 計	360,000 円	
対象経費	360,000 円	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

3. その他

支援金内定額が交付希望額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

（ はい ・ いいえ ）

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

・申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか。

〔 自主財源の補填を追加する。 〕

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

備品購入シート

申込事業の名称	自然観察・自然史科学の普及・自然史資料の収集整理・研究出版・環境教育・自然館でのイベント事業
備品の名称	家庭用油しぼり機
備品の規格・数量等	(有)石野製作所 SHIBORO-mini ・ 1
備品の金額	税込 48,276 円
備品購入の必要性	(申請事業における備品の必要性について) 3 年前より、身近な自然環境の中にあるツバキの実を自分たちで集めて、自分たちで苦労して作ることによって、自然物（ツバキ油）のすばらしさを学ぶ実体験を実施してきたが、抽出にあまりにも手間と時間がかかるのでその日の内に持って帰ってもらえることが出来ず困っていた。油しぼり器であればその場・目の前で実体験できるので必要である。またレンタル用品を探しても見つからず、高価であったのであきらめていたが、今回備品価格に合う良いものが見つかったので是非とも購入したい。 (使用目的) 机上の学習ではなく、身近でありながらも知らなかったこと実体験として学んでもらうため。 自然物のすばらしさの感動を体験してもらい、今後の自然遊びに役立てるため。

※予算書に備品費（対象経費）を計上されている場合は必ずご提出ください。